

兵庫県のシャチホコガ(1)

兵庫県産蛾類分布資料・13

高島 昭

シャチホコガ科の蛾は比較的同定が容易で、兵庫県の蛾のうちではデータがよく集積されていると思われる。しかし、県下のシャチホコガをまとめたものはあまりなく、遠山ら(1975)らによる「兵庫県の蛾(1)シャチホコガ科」(きべりはむし4(1/2), p.26-37)が唯一のものと思われる。それ以後、かなり多数の記録が発表されていることから、未発表データを含めた現時点での兵庫県のシャチホコガの分布状況のまとめを試みた。掲載した記録は1999年9月30日現在で入手できた資料に基づいている。種名のあとに記した()書きの数字はカタログ番号である。

本稿はかなり長文となるので2回に分割して掲載する。

なお、相坂耕作氏、近藤伸一氏、柴田 剛氏には文献の紹介、御恵与、貴重な採集記録の提供等を賜った。また、山本義丸氏には常日頃から記録の照会や近隣地域における記録の状況をはじめ、分類学上の様々な御助言をいただくとともに本稿を草するにあたり多くの御教示を賜った。未筆ながら厚く御礼申し上げる。

凡 例

データの記載方法は次のとおりである。

市町名(採集地名,日,月,年,頭数,性別,採集者名,文献記録の場合は文献番号)

文献は通し番号(著者アルファベット順)をつけて巻末に一括表示した。文献番号がないものは未発表記録である。

文献による記録は原則として原記載のとおりであるが次の場合はデータの加工をおこなっていることをお断りしておく。

1) 地名について：国土地理院発行の50,000分の1地形図に準拠した(姫路市広峰山→広嶺山,竜野市→龍野市など)。また、文献中の採集記録には公園名や学校名などの固有名詞が挙げられているものが多いが、これらはそれが位置する地名(集落名)に統一した(例：波賀町引原ダム→波賀町引原,西脇高校黒田庄分校→黒田庄町喜多など)。

町村合併等で行政区分が変更されている場合は現在の表記に合わせている(例：久崎村→上月町,篠山町→篠山市など)。

2) データについて：文献データのうち採集地名、採集日、頭数、性別が不明のものは「-」で表示した。ただし、原記載に具体的なデータが示されていないなくても文献中の解説文等から判断できるものは記載している。

3) 採集者名について：データに採集者名が記載されていない場合、文献の発表者が採集したと判断できる場合はその発表者を、文献の発表者が複数の場合は「○○(代表者名)ほか」とした。全く不明の場合は「-」を表示した。

シャチホコガ科 NOTODONTIDAE

シャチホコガ科は日本で121種が記録されているが、落葉広葉樹林に分布の中心をもつ冷温帯性の種が多く、温帯林の中心樹種であるブナ、コナラ属、カエデ類、トチノキ、ヤナギ類を食樹とする種が多いのが特徴である。そのため、シャチホコガ科の県内での分布を見ると、種類数は山地帯に豊富であり、400-500m以上の山地帯でのみ採集されている種は33種にものぼる。反面、平地から低山地のみで見られるものはタカサゴツマキシヤチホコ、ノヒラトビモンシャチホコ、シノノメシャチホコ、クシヒゲシャチホコの4種のみである。

兵庫県全体では89種の記録がある(1999年9月現在)が、そのうちクロツマキシヤチホコについては記録に疑問があり、本県に確実に分布していることが確認できるまで保留したい。したがって、本稿では88種を県産シャチホコガとして掲載する。

地域別に確認された種類数を見ると、神戸市53種、阪神52種、中東播南部24種、中東播北部23種、西播南部44種、西播北部72種、南但62種、北但30種、丹波45種、淡路北部13種、淡路南部21種であり、西播北部から但馬にかけてのいわゆる中国山地東部地域には種類数、個体数ともに多い。例えば、波賀町音水・引原地域では68種と県下で産するシャチホコガの約7割を産するのをはじめ、波賀町坂の谷では38種、氷ノ山では33種、関宮町の福定では49種が記録されている。山地が多く自然が残っている北但地域で少ないのは、調査が行き届いていないため、今後の調査次第ではかなりの種類数が確認されるに違いない。

蛾の中ではシャチホコガ科の蛾相は比較的解明されているといえるが、なお充分調査が行き届いているとは思えない。最近になってクシヒゲシャチホコ、アマギシャチホコ、シーベルスシャチホコの3種が新たに確認されており、今後さらに種類数が増えることが期待される。隣の岡山県からは89種が報告されているが、そのうちモクメシャチホコ、スジモクメシャチホコ、トリゲキシャチホコ、ウスグロシャチホコ、ゲンカイハガタシャチホコ(*)、クワヤマエグリシャチホコ、ウスヅマシャチホコ、エゾクシヒゲシャチホコ(*)の8種(*)はデータが示されていないものは、兵庫県からは確認されていないものである。詳しい調査によってこれらが発見される可能性は高く、さらに種類数が増える可能性がある。

1. *Tarsolepis japonica* Wileman & South (3072)

ギンモンズズメモドキ

翅型、体型ともスマートでズズメガに一見よく似ているのでこの名がある。関東以西に分布している。カエデ類を食樹としており、山地の溪谷が主な生息域と思われる。食樹さえあれば低山地の溪谷添いにも分布するが、県内ではやや局地的な分布をしているようでどこでも採集できるわけではない。とくに、淡路地域からは記録がない。六甲山から北摂地域には産地が多いようである。

【採集記録】

神戸市(有馬,29.VI.1958,1♂,東正雄²²)
宝塚市(武庫川町,9.VIII.1984,-,新家勝¹⁸:西谷西部,18.VI.1977,1♂;8.VIII.1987,1♂,東正雄²²:武田尾,12.VIII.1991,1♂,東正雄²²)
波賀町(引原,27.VII.1973,1♂;22.VI.1974,1♂;13.VII.1974,2♂,-³⁶:同,9.VII.1988,1♂,高島昭²³:坂の谷,26.VI.1998,1♂,高島昭:同,24.VII.1998,1♂,高島昭)
三室山(-,-,-,遠山ほか¹⁴)
出石町(弘原,1.VIII.1975,-,大林誠²⁰)
大屋町(横行溪谷,6.VII.1999,1♂,高島昭)
関宮町(福定,1.VIII.1979,1ex.,芦田久¹)
氷ノ山(-,-,-,山本義丸⁴¹)
市島町(妙高山,27.VII.1953,-,山本義丸⁴⁰)

2. *Stauropus fagi* (Linnaeus) (3074)

シャチホコガ

北海道から九州、対馬、屋久島に分布する普通種で、年2回発生し多食性である。県下にも広く分布するが、東播から中播北部、淡路北部の各地域からの記録を欠く。おそらく調査不足によるものと思われ、県下全域に普遍的に産するものと思

われる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-,-,-,田中蕃³¹:藍那,23.VI.1970,1♂,-³⁶)
宝塚市(西谷西部,23.VI.1979,1♂,東正雄²²:千刈,3.IX.1991,1♂,東正雄²²)
川西市(黒川,29.V.1997,1♂,高島昭²⁷)
猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂;20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁸:三草山,18.VI.1971,1♂,-³⁶)
姫路市(太市,23.IV.1995,1♂1♀,高島昭)
安富町(大河溪谷,19.VI.1999,1♀,高島昭)
波賀町(引原,18.V.1974,1♂;12.VIII.1974,1♂,-³⁶:同,28.IV.1988,1ex.;15.VI.1988,1♀;18.VI.1988,1♀;9.VIII.1988,1♂,高島昭²³)
相生市(瓜生,29.V.1997,1♂,高島昭²⁷)
南光町(船越,23.VIII.1963,1ex.,岡本清)
三日月町(下本郷,-IV,-;-V,-;-VI,-;-VII,-;-VIII,-;-IX,-,-,川副昭人⁶)
豊岡市(正法寺,12.IV.1998,1♀,柴田剛)
朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁶)
大屋町(横行溪谷,15.V.1999,1♂,高島昭)
関宮町(氷ノ山,-,-,1955,-,山本義丸³⁹:福定,7.VII.1973,1♂,-³⁶)
柏原町(柏原,-,-,-,山本義丸⁴⁴)
南淡町(灘,13.VI.1970,-,藤平明²)

3. *Neostauropus basalis* (Moore) (3077)

ヒメシャチホコ

北海道から九州、対馬に分布する普通種。年2回発生し、ハギ類を食べることが知られている。県内では普遍的に記録が見られるが、北但地域からは記録がない。多分調査不足によるものと思われる。

【採集記録】

神戸市(六甲山,-,-,1933,-,堀江聡男³⁷:摩耶山,-,-,-,岡村八郎¹²:同,-,-,-,田中蕃³¹:山の街,5.VIII.1973,1♂,-³⁶)
西宮市(生瀬,13.VI.1970,1♂,-;同,23.VII.1970,1♀,-³⁶)
宝塚市(武庫川町,9.IX.1979,-,新家勝¹⁶:西谷西部,13.VI.1987,1♂;25.VI.1977,1♂;17.VI.1989,1♂,東正雄²²)
川西市(黒川,7.VI.1997,1♂,高島昭²⁷)
猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♀;12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁸)
黒田庄町(喜多,27.IV.1959,1ex.,岡本清:同,28.IV.1959,1ex.,岡本清:同,1.V.1959,1ex.,岡本清:同,4.V.1959,1ex.,岡本清:同,11.V.1960,1ex.,岡本清:同,2.V.1961,1ex.,岡本清:同,7.V.1961,1ex.,岡

本清)

姫路市(西庄,13.V.1982,1♂,相坂耕作)
 波賀町(引原,18.V.1974,1♂; 1.VI.1974,1♂,³⁶; 同,
 16.V.1988,1♂; 26.V.1988,1♂; 7.VI.1988,1♂;
 25.VII.1988,1♀,高島昭²³)
 三日月町(下本郷,-IX,-,川副昭人⁶)
 関宮町(福定,1.VIII.1979,1ex.,芦田久¹)
 氷上郡(-,-,-,山本義丸⁴⁰)
 津名町(大町畑,3.V.1972,3♂; 5.V.1972,3♂,登日邦
 明³³)
 南淡町(阿万上町,11.VI.1961,-,藤平明³)

4. *Palaeostauropus obliterata* (Wileman & South)
 (3078) ゴマダラシャチホコ 注目種

関東南部から九州に分布し、夏に1回の発生が知られているが全国的に個体数は少ないようである。幼生期は未知である。県下では波賀町引原ダムで得られているだけである。局地的な分布をしているのかどうか、西播から但馬にかけての山地帯を調査してみる必要がある。

[採集記録]

波賀町(引原,12.VIII.1974,1♂,³⁶; 同,10.IX.1987,
 1♀,高島昭²³)

5. *Syntypistis pryeri* (Leech) (3079)

プライアオシャチホコ

別名スギタニアオシャチホコ。北海道から九州にかけて分布し、クヌギが食樹として知られているが、ウバメガシも食樹になるという(中村,杉,1989,蛾類通信156,p.86.)。普通種ではあるが、県内の分布は南東部、中央部と淡路に限られており、やや特異的である。県下のクヌギの分布には偏りがあり、淡路や阪神地方では多いが、南西部では少なく、但馬では植栽以外にはほとんど稀であるという。クヌギが少ないところではアベマキが代替種となっており、またクヌギを食べる蛾はそのような所ではアベマキを代替食として利用することが多いが、この蛾の県下の分布はクヌギの分布状況と見事に合致しているように思われる。

なお、宝塚市の記録は「宝塚の昆虫(III)」にプナアオシャチホコとして記録されていたものであるが、本種との誤同定と思われるので参考記録として掲載する(プナアオシャチホコの項参照)。

[採集記録]

神戸市(藍那,19.V.1973,1♂,遠山ほか³⁶)
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 20.VIII.1982,
 1♂,夏秋ほか⁸)
 黒田庄町(喜多,26.IV.1962,1ex.,岡本清)
 波賀町(引原,1.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶; 同,5.VIII.

1988,1♂,高島昭²³)

氷ノ山(-,-,-,-¹⁴)

北淡町(伊勢の森,7.VII.1972,1♂,登日邦明³⁵)
 洲本市(中津川,3.VII.1972,1♂; 11.VIII.1972,1♂,登
 日邦明³⁵)
 南淡町(阿万上町,10.IV.1983,-; 11.VIII.1986,-,藤平
 明³)

[参考記録]

宝塚市(西谷西部,16.VI.1977,1♂,東正雄²²)

6. *Syntypistis japonica* (Nakatomi) (3080)

アオシャチホコ

東北から九州にかけて分布し、エゴノキを食樹としている。前翅中室内に白色小点を表すことが多く、本種の識別点となる。年2回発生し、各地に普通に見られるが、東播、中播北部、北但、淡路からは記録がない。

[採集記録]

神戸市(藍那,19.V.1969,1♂,³⁶)
 川西市(新滝,3.V.1972,1♂,³⁶; 黒川,10.VIII.1996,
 1♂; 12.X.1996,1♂; 29.V.1997,1♂,高島昭²⁷)
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 21.VII.1982,
 1♂; 12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁸; 三草山,18.VI.
 1971,1♂,³⁶)
 姫路市(広嶺山,13.V.1982,1♂,相坂耕作)
 安富町(大河溪谷,7.V.1999,1♂,高島昭)
 一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,2♂,遊磨正秀⁴⁸)
 波賀町(引原,8.VI.1974,1♂1♀; 12.VIII.1974,1♀;
 8.V.1977,1♂; 22.VI.1977,3♂; 3.V.1979,1♂,遊
 磨正秀⁴⁸; 同,9.VIII.1988,1♂; 20.VIII.1988,2♂,
 高島昭²³; 坂の谷,12.VI.1998,1♂,高島昭)
 相生市(瓜生,24.V.1989,1♂; 7.VI.1989,1♂; 30.VI.
 1989,1♂,高島昭²⁴; 同,29.V.1997,1♂,高島昭)
 三日月町(下本郷,-IV,-; -V,-; -VI,-; -VII,-;
 -VIII,-,川副昭人⁶)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,2♂,遊磨正秀⁴⁸)
 大屋町(横行溪谷,2.V.1999,1♂,高島昭; 同,8.V.
 1999,1♂,高島昭)
 関宮町(福定,4.VIII.1979,1ex.,芦田久¹; 同,-,-,
 1954,-,山本義丸³⁸)
 柏原町(柏原,-,-,-,山本義丸⁴⁴)
 市島町(妙高山,-,-,-,山本義丸⁴⁴)

7. *Syntypistis cyanea* (Leech) (3082)

オオアオシャチホコ

東北から九州にかけてと対馬、屋久島、伊豆諸島に分布する。アオシャチホコとよく似ているが、前翅に金属様緑色鱗片が発達し、翅表中央には暗色部分を残す個体が多い。アオシャチホコよりや

や高標高地に多いというが、県下では低山地で混生している地域も多い(猪名川町、三日月町、一宮町、波賀町)。アオシヤチホコに比べると、やや産地が限定される傾向にある。

【採集記録】

宝塚市(西谷西部,18.VI.1988,2♂; 20.VII.1991,1♂, 東正雄²²⁾)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂,夏秋ほか⁹⁾)

姫路市(広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭²⁰⁾)

一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,6♂1♀,遊磨正秀⁴⁹⁾)

波賀町(音水,10.VIII.1987,1ex.,高島昭²³⁾: 引原,18.V.1974,1♂; 2.VIII.1974,1♀,遠山ほか³⁶⁾: 同,22.VI.1974,1♂; 29.VI.1974,1♂; 2.VI.1975,1♂; 22.VI.1977,1♂; 3.V.1979,1♂,遊磨正秀⁴⁸⁾: 同,9.VII.1988,1♂; 1.IX.1988,1♀,高島昭²³⁾: 坂の谷,17.VII.1998,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VI.-.,川副昭人⁶⁾)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,4♂,遊磨正秀⁵⁰⁾: 横行溪谷,17.IV.1999,1♂,高島昭)

氷ノ山(-.-.-,1⁴⁾)

8. *Syntypistis punctatella* (Motschulsky) (3083)

ブナアオシヤチホコ

北海道南部から九州にかけてのブナ帯に分布する。ブナ、イヌブナを食するため、県下での産地も限られる。三日月町下本郷での記録があるが、最も近いブナ類の分布地は相生市の三濃山(イヌブナ)であると思われる。直線距離で数キロ離れており、飛来したものか、未知のイヌブナの分布地があるのか、いずれにしても再確認が必要と思われる。

そのほか宝塚市西谷西部からも記録がある²²⁾が、これは掲載されている写真がブナアオシヤチホコ(♀)であり、誤同定の可能性が強いため本種の記録として掲載を見合わせた。

【採集記録】

妙見山(26.VIII.1983,1♂,夏秋ほか⁹⁾)

波賀町(引原,8.VI.1974,1♂; 22.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶⁾: 坂の谷,28.IV.1998,1♂,高島昭: 同,27.V.

1998,3♂,高島昭: 同,19.VIII.1998,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VIII.-.,川副昭人⁶⁾)

温泉町(扇ノ山,3.V.1985,1♂1♀,足立義弘³²⁾)

大屋町(横行溪谷,28.V.1999,1♀,高島昭)

関宮町(氷ノ山,-.-.-,山本義丸⁴¹⁾)

9. *Cnethodonta grisescens* Staudinger (3087)

バイバラシロシヤチホコ

日本産の *Cnethodonta* 属は、1970年代になって2種が混在していることが判明し次種と分離され

た。日本各地に分布し、沿海州から中国、台湾にも分布する。県下では次種より広範に生息し、ほぼ全域で採集されている。平地から山地まで垂直分布も広い。本種が未記録の神戸や中東播北部からも見つかると思われる。多食性で種々の広葉樹を食樹とするが、次種と正確に幼虫の区別がなされていないという。和名は台湾の地名眉原にちなんだものである。

【採集記録】

宝塚市(武田尾,3.IX.1991,1♂,東正雄²²⁾)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,2♂; 20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁹⁾)

姫路市(広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭²⁰⁾)

一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁹⁾)

波賀町(引原,18.V.1974,4♂,遠山ほか³⁶⁾: 同,18.VI.1988,1♀; 25.VII.1988,1♂,高島昭²³⁾: 坂の谷,

15.V.1998,1♂,高島昭: 同,5.VI.1998,1♂,高島昭)

相生市(瓜生,7.VI.1989,1♂; 17.VI.1989,2♂; 7.VII.

1989,1♂,高島昭²⁴⁾)

上郡町(行頭,7.IX.1995,1♂,高島昭²⁵⁾)

南光町(船越,5.VIII.1963,1ex.,岡本清)

三日月町(下本郷,-.VI.-.; -.VI.-.; -.VII.-.,川副昭人⁶⁾)

豊岡市(正法寺,25.VI.1998,2♂,柴田剛)

竹野町(森本,23.VIII.1998,1♂,柴田剛)

温泉町(扇ノ山,11.VIII.1984,1♀,谷田昌也³²⁾: 同,25.VIII.1984,1♂,川副昭人³²⁾)

関宮町(福定,17.VII.1972,1♂; 23.VII.1973,2♂,遠山ほか⁴⁷⁾)

市島町(妙高山,-.-.-,山本義丸⁴⁴⁾)

青垣町(神楽,-.-.-,山本義丸⁴⁴⁾)

10. *Cnethodonta japonica* Sugi (3088)

シロシヤチホコ

日本特産種で年2回出現し、前種より山地性。県内でも既知産地は西播北部から南但にかけての山地に限られているが、生息地での個体数は多い。古い記録は前種と混同されている可能性がある。

【採集記録】

安富町(大河溪谷,29.V.1999,1♂,高島昭)

一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,2♂,遊磨正秀⁴⁹⁾)

波賀町(原,28.VII.1995,1♂,高島昭: 引原,18.VII.1973,1♂; 1.VII.1974,2♂,-³⁶⁾: 同,5.IX.1987,1ex.

; 15.VI.1988,1♂; 9.VII.1988,1♂; 25.VII.1988,1♂; 29.VII.1988,1♂1♀,高島昭²³⁾: 坂の谷,15.

V.1998,1♂,高島昭: 同,24.VII.1998,1♂,高島昭)

三室山(-.-.-,遠山ほか¹⁴⁾)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂; 31.VII.1975,3♂,遊磨正秀⁴⁶⁾)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,2♂,遊磨正秀⁵⁰: 横行
溪谷,8.V.1999,1♂,高島昭: 同,15.V.1999,1♂,高
島昭)

関宮町(福定,26.VII.1974,1♂,³⁶: 氷ノ山,23.VII.
1954,2♂,山本義丸⁴³)

11. *Shachia circumscripta* (Butler) (3089)

ニッコウシャチホコ 注目種

北海道から九州にかけて分布し、年2回発生す
る。オニグルミ、サワグルミを食樹とするため、
溪谷地帯が主要な分布域となる。

前翅の緑色が美しい種だが、県下では産地は限
られており、現在のところ波賀町、温泉町、大屋
町で記録されているだけである。氷ノ山を中心と
する西播北部から但馬地域にかけての山地帯で見
つかると思われる。

【採集記録】

波賀町(引原,18.VII.1973,1♂; 29.VI.1974,1♂,遠山
ほか³⁶: 同,2.VII.1988,1♂,高島昭²³: 坂の谷,
15.V.1998,2♂,高島昭: 同,27.V.1998,1♂,高島
昭)

温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,2♂,谷田昌也³²)

大屋町(氷ノ山,-,VII.1957,-,山本義丸⁴¹: 横行溪谷,
4.VI.1999,1♂,高島昭: 同,6.VII.1999,1♀,高島
昭)

12. *Cerura erminea* (Moore) (3091)

オオモクメシャチホコ

日本各地に分布し、小豆島にも生息している。
年2回の発生でヤナギ類を食樹とすることが知ら
れている。県下での記録はやや限られており、現
在まで下記の6カ所のみであるが、宝塚市では市
街地で採集されている。ヤナギの多い河川流域を
調査すればもっと産地はみつかると思う。

なお、本種に近縁なモクメシャチホコ *C.vinula*
(Linnaeus) は県下から記録がない。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,3.IX.1960,-,森 博¹³: 同,-,VI.
1970,1♂,³⁶)

宝塚市(武庫川町,22.VI.1981,-,新家勝¹⁷)

波賀町(引原,22.VI.1974,1♂; 29.VI.1974,2♂; 13.
VII.1974,1♂,³⁶: 同,2.VII.1988,1♂,高島昭²³)

三日月町(下本郷,-,VI.-,-,川副昭人⁶)

関宮町(福定,1.VIII.1979,1ex.,芦田久¹)

市島町(妙高山,20.VI.1955,-,山本義丸⁴⁰)

13. *Cerura tattakana* Matsumura (3092)

タツカモクメシャチホコ 注目種

暖地性の蛾で、伊豆半島以西の太平洋側から南

西諸島にかけてが主な分布域で、宮城県、群馬県、
長野県下伊那地方に孤立した産地が知られる。暖
地性とはいっても山地の樹林帯を好むようで、い
ずれの地でも局地的な分布をする。県内では今の
ところ波賀町引原ダムが唯一の産地である。同地
では時々採集されており、土着していると思われ
るが、周辺地域からは記録がなく調査が必要であ
る。年2回の発生と思われる。幼虫はイイギリを
食べることが知られている。

【採集記録】

波賀町(引原,-,VI.1971,1♂,相坂耕作: 同,8.VI.
1974,1♂; 29.VI.1974,1♂,³⁶: 同,18.VI.1988,
1♀; 26.VI.1988,1♀,高島昭²³)

14. *Furcula bicuspis* (Borkhausen) (3093)

ホシナカグロモクメシャチホコ 注目種

北方系の種で、千島、北海道から本州にかけて
分布するが、本州の南西限は岡山県である。徳島
県の剣山に孤立した産地が知られる。西南日本で
は分布は高地に限られるようで、県内では永らく
氷ノ山での古い1例の記録があるだけであったが、
筆者は最近大屋町で確認している。しかし、分布
域は比較的狭いものと思われる。ヤナギ類を食し、
年1回7月に出現する。

【採集記録】

大屋町(横行溪谷,3.IX.1999,1♀,高島昭)
氷ノ山(-,-,-,-,1⁴)

15. *Furcula furcula* (Moore) (3094)

ナカグロモクメシャチホコ

日本各地に分布する。各種ヤナギ類やポプラを
食樹とし、年2回発生する。県内での記録は次の
9市町でやや少ないが、その中心は低山地である。
東播から西播にかけての南部地域、北但からの記
録が見られない。普遍的に分布しているものと思
われ、記録の集積が望まれる。

【採集記録】

神戸市(藍那,29.IV.1969,1♂,遠山ほか³⁶)

宝塚市(武庫川町,6.V.1979,-,新家勝¹⁶)

黒田庄町(喜多,11.IV.1959,1ex.,岡本清: 同,15.IV.
1959,1ex.,岡本清: 同,21.IV.1959,1ex.,岡本清:
同,13.IX.1960,1ex.,岡本清)

波賀町(引原,6.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶)

関宮町(福定,24.VI.1973,1♂,遠山ほか³⁶)

柏原町(柏原,-,-,-,-,山本義丸⁴⁴)

津名町(大町畑,29.VI.1972,1♂; 30.VI.1972,1♀,登
日英樹³³: 同,5.V.1972,1♂,登日邦明³³)

洲本市(-,25.V.1969,-,坂口操¹⁵)

南淡町(阿万上町,14.IV.1961,-,藤平明: 同,13.

IX.1986,-,藤平明³)**16. *Harpyia umbrosa* (Staudinger) (3095)**

ギンシャチホコ

前翅を中心に銀色の鱗粉をちりばめ、真珠のような光沢があり渋い美しさがある。温帯林の蛾で日本各地に分布し、各地に普通に産する。年2回発生し、コナラ属を食樹とする。

県内では平地から山地まで普通に見られる。記録のない北但、淡路北部にも分布しているだろう。【採集記録】

神戸市(摩耶山,-,-,-,田中蕃³¹:同,-,-,-,岡村八郎¹²:山の街,21.V.1970,1♀,遠山ほか³⁶)

宝塚市(西谷西部,14.V.1977,4♂; 22.VI.1985,1♀; 13.VI.1987,1♂; 27.VI.1987,1♂; 18.VI.1988,1♂,東正雄²²)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂,夏秋ほか⁸)

黒田庄町(喜多,24.VI.1960,1ex.,岡本清)

姫路市(広嶺山,22.VI.1996,1♀,高島昭²⁶:西庄,13.V.1982,1♂,相坂耕作:太市,-,-,1991,-,丸谷ほか⁹)

波賀町(引原,5.VII.1973,1♀; 22.VI.1974,1♂; 29.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶:同,15.VI.1988,1♀; 16.VII.1988,1♂,高島昭²³)

三室山(-,-,-,遠山ほか¹⁴)

上郡町(行頭,2.VI.1995,1♂,高島昭²⁵:黒石,22.VII.1984,1♂,相坂耕作)

三日月町(下本郷,-.VI.-; -.VII.-; -.VIII.-,川副昭人⁶)

大屋町(横行溪谷,11.VI.1999,1♂,高島昭)

関宮町(福定,7.VII.1973,1♂,遠山ほか³⁶)

柏原町(柏原,-,-,-,山本義丸⁴⁴)

南淡町(阿万上町,26.V.1987,-,藤平明³)

17. *Wilemanus bidentatus* (Wileman) (3098)

モンクロギンシャチホコ

岩手県以南の本州と四国、九州に産し、関東以北では局地的だが、西南日本ではそれほど珍しいものではない。ナシ、ザイフリボク等バラ科を食することが知られている。県下では平地から低山地で得られている。北但や淡路北部からも得られると思われる。この種も年2回の発生である。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-,-,-,岡村八郎¹²:藍那,12.VI.1963,1♂,遠山ほか³⁶)

宝塚市(武庫山,9.VII.1968,1♀,遠山ほか³⁶:美座2丁目,12.VIII.1978,-,新家勝²²:西谷西部,22.VIII.1987,1♂; 20.VIII.1988,-,東正雄²²)

川西市(花屋敷,18.IX.1938,1♂; 14.V.1939,1♀,東

正雄²²:黒川,13.VII.1996,1♂,高島昭²⁷)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 21.VII.1982,1♂; 20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁸)

黒田庄町(喜多,29.VI.1959,1ex.,岡本清:同,29.VI.

1962,1ex.,岡本清:同,7.VII.1962,1ex.,岡本清)

姫路市(太市,-,-,1991,-,丸谷ほか⁹:同,28.VI.

1995,1♀,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VI.-,川副昭人⁶)

柏原町(柏原,-,-,-,山本義丸⁴⁴)

市島町(妙高山,-,-,-,山本義丸⁴⁴)

南淡町(灘,23.VIII.1971,-,藤平明²)

18. *Uropyia meticulodina* (Oberthür) (3099)

ムラサキシヤチホコ

日本各地に生息するが、オニグルミを食樹としているため、山地の渓谷沿いや河川流域がその発生地となっているものと思われる。おそらく年2回発生とされているが、県下の採集記録を見ると5月と8月に多く採集されており、年2化と見てさしつかえないであろう。県内各地で採集されているが、食樹の分布に左右されるためどこでも得られるというものではないようだ。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,2.VIII.1968,1ex.,岡村八郎¹²:藍那,1.VII.1958,1♂,遠山ほか³⁶)

宝塚市(武田尾,16.VI.1990,-,新家勝²²:同,13.VII.1991,1♂,東正雄²²)

三田市(香下,3.IX.1991,1♀,東良雄²²)

黒田庄町(喜多,18.V.1961,1ex.,岡本清)

波賀町(引原,8.VI.1974,2♂1♀,遠山ほか³⁶:同,16.V.1988,1♂:7.VI.1988,1♂,高島昭²³)

相生市(瓜生,13.V.1989,1♂,高島昭²⁴)

上郡町(行頭,2.V.1995,1♂,高島昭²⁵)

三日月町(下本郷,-.VI.-; -.VIII.-; -.IX.-,川副昭人⁶)

上月町(円光寺,5.V.1971,1♀,遠山ほか³⁶)

竹野町(森本,26.VIII.1998,1♂,柴田剛)

大屋町(横行溪谷,4.VI.1999,1♂,高島昭)

関宮町(福定,4.VIII.1979,1ex.,佐藤学¹:氷ノ山,-,1955,-,山本義丸³⁹)

柏原町(柏原,25.V.1954,1♂,山本義丸⁴⁴)

北淡町(伊勢の森,5.VIII.1972,1♀,登日邦明³⁵)

洲本市(中津川,11.VIII.1972,1♂; 15.VIII.1972,1♂,登日邦明³⁵)

南淡町(阿万,5.VI.1968,-,藤平明²:阿万上町,5.

VI.1970,-,藤平明³:同,10.VII.1972,1♂,登日邦明³⁵:灘,30.V.1968,-,藤平明²)

19. *Fentonia ocypte* (Bremer) (3100)

ホソバシャチホコ

全国的に産出し年2回の発生で、コナラ属を食樹とする。常緑のカシ類にも幼虫が見出され、食性は広い。県下ではシャチホコガ科中の最普通種で、平地から山地まで広く分布し、個体数も多く灯火によく飛来するので見かける機会も多い。前翅の模様には個体変異が大きい。

【採集記録】

神戸市(六甲山,-,1933,-,堀江聡男³⁷:摩耶山,-,-,-,田中蕃³¹:同,-,-,-,岡村八郎¹²:山の街,4.VIII.1973,1♂,遠山ほか³⁶)

宝塚市(武庫川町,15.VIII.1981,-,新家勝¹⁷:西谷西部,26.VI.1977,1♂;22.VI.1985,1♂;13.VI.

1987,1♂;27.VI.1987,1♂;9.VIII.1987,1♀;6.VIII.1988,-;20.VIII.1988,-,東正雄²²:武田尾,2.VI.1987,1♂;13.VII.1990,1♂;8.VII.1991,1♂;13.VII.1991,1♂,東正雄²²)

川西市(鼓ヶ滝,-,VIII.1968,1♂,遠山ほか³⁶:黒川,13.VII.1996,2♂,高島昭²⁷:同,10.VIII.1996,1♂,近藤伸一²⁷)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,2♂;21.VII.1982,2♂;12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁸)

黒田庄町(喜多,9.VI.1960,1ex.,岡本清:同,24.VI.1960,1ex.,岡本清:同,3.X.1960,1ex.,岡本清)

姫路市(広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭²⁸:太市,31.V.1995,1♀,高島昭)

夢前町(-,19.VII.1972,3♂,相坂耕作)

安富町(大河溪谷,29.V.1999,1♀,高島昭)

一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,目,遊磨正秀⁴⁹)

波賀町(音水,10.VIII.1987,1ex.,高島昭²³:引原,27.VII.1973,2♂2♀,遠山ほか³⁶:同,11.VIII.1987,1♀;9.VII.1988,3♀;25.VII.1988,1♀,高島昭²³:鹿伏,18.VIII.1995,1♂,高島昭)

三室山(-,-,-,遠山ほか¹⁴)

上郡町(行頭,26.V.1995,2♂,高島昭²⁵:黒石,22.VII.1984,1♂,相坂耕作)

佐用町(佐用,24.VI.1967,1♀,相坂耕作)

三日月町(下本郷,-,VI.-,-; -,VII.-,-; -,VIII.-,-; -,IX.-,-,川副昭人⁶)

豊岡市(山本,31.V.1973,-;14.VI.1973,-,山根政之²⁰:正法寺,30.VII.1997,1♀,柴田剛:同,12.VIII.1998,1♀,柴田剛)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁶)

和田山町(久世田,7.V.1998,1♀,柴田剛)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,目,遊磨正秀⁵⁰:横河溪谷,23.VII.1999,1♀,高島昭)

関宮町(福定,7.VII.1973,2♂;26.VII.1973,1♂,遠山ほか³⁶:氷ノ山,-,1954,-,山本義丸³⁹)

氷上郡(-,-,-,山本義丸⁴⁰)

北淡町(伊勢の森,5.VIII.1972,1♂1♀,登日邦明³⁴)
津名町(大町畑,3.V.1972,1♂;5.V.1972,2♂;1.VII.1972,1♂,登日邦明³⁴)

洲本市(中津川,3.VII.1972,2♂,登日邦明³⁴:鮎屋,16.V.1969,-;25.V.1969,-,坂口操¹⁶:先山,12.VIII.1976,1ex.,堀田久⁵:三熊山,6.VI.1981,1♀,西岡公明¹⁰)

三原町(八木養宜,3.VII.1992,-,藤富正昭⁴¹)

南淡町(阿万上町,10.VII.1972,1♀,登日邦明³⁴:同,10.VI.1962,-,藤平明²:灘,5.VI.1970,-,藤平明²)

20. *Mesophalera sigmata* (Butler) (3101)

クロシタシャチホコ

本州南半から屋久島にかけて分布するやや暖帯性の種で、ツバキを食樹とする。最近、沖縄でも発見された。年2回発生とされている。県下の記録はそれほど多くなく、記録の集積が必要である。とくに関宮町や氷ノ山でも採集されており、案内生息適応性は広いのかもしれない。東播や北但の海岸沿いなどにも分布していると思われる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-,-,-,岡村八郎¹²:有馬,10.VI.1948,1♂,東正雄²²:山の街,10.VII.1967,1♂,遠山ほか³⁶)

猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♂,夏秋ほか⁸)

相生市(瓜生,24.VII.1997,1♀,高島昭²⁸)

上郡町(黒石,22.VII.1984,1♂1♀,相坂耕作)

三日月町(下本郷,-,VI.-,-,川副昭人⁶)

関宮町(福定,26.VI.1973,1♂,遠山ほか³⁶)

氷ノ山(-,-,-,山本義丸⁴²)

氷上郡(-,-,-,山本義丸⁴⁰)

北淡町(伊勢の森,7.VII.1972,2♂,登日邦明³⁵)

洲本市(中津川,3.VII.1972,1♂,登日邦明³⁵)

21. *Disparia variegata* (Wileman) (3102)

ホソバネグロシャチホコ

新潟・福島以南の分布で、南西諸島まで記録がある。食樹は常緑樹のヒサカキで暖帯性の種であるといえる。年2回発生である。県下での記録はやや少なく、中・東播、淡路地域からの記録が見当たらない。低山地を中心に広く分布すると思われる。

【採集記録】

神戸市(山の街,21.VII.1972,1♀,遠山ほか³⁶)

猪名川町(上阿古谷,19.VIII.1983,1♂,夏秋ほか⁸)

上郡町(行頭,26.V.1995,1♂;23.VI.1995,1♂,高島昭²⁵)

三日月町(下本郷,-,VI.-,-,川副昭人⁶)

豊岡市(山本,2.VI.1973,-,山根政之²⁰)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁶)
 柏原町(柏原,-,-,-,山本義丸⁴⁴)
 市島町(妙高山,-,-,-,山本義丸⁴⁴)

22. *Neodrymonia delia* (Leech) (3106)

フタジマネグロシャチホコ

日本特産種で、青森県を北限とし九州まで産する。年2回の発生でサワフタギを食樹とする。

県下では採集記録が少なく、神戸・阪神地域と西播北部、氷ノ山から鉢伏山にかけての高原地帯にいくつかの記録があるに過ぎない。食樹の分布によることもあるが、個体数そのものが少ないのかもしれない。

[採集記録]

神戸市(山の街,6.VII.1964,1♂,遠山ほか³⁶)
 宝塚市(西谷西部,18.VI.1988,1♂,東正雄²²)
 猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,3♂,夏秋ほか⁸)
 一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁹)
 波賀町(引原,12.VIII.1974,1♂,遠山ほか³⁶)
 鉢伏山(-,-,-,-¹⁴)
 関宮町(福定,8.VII.1973,1♂; 23.VI.1973,5♂,遠山ほか³⁶)
 氷ノ山(-,-,-,-,山本義丸⁴¹)

23. *Eufentonia nihonica* (Wileman) (3108)

オオネグロシャチホコ 注目種

日本の特産種で、新潟・関東以西の西南日本に分布する。年2回の発生で、ナツツバキ、ヒメシヤラが食樹として知られているが、これらの植物の分布はやや局地的であるため、本種の分布も限られる傾向にある。

県下では、わずかに神戸市、宝塚市、波賀町、三室山で記録が見られるにすぎない。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,岡村八郎¹²)
 宝塚市(西谷西部,27.VI.1987,1♀,東正雄²²; 武田尾,15.VIII.1991,1♂,東正雄²²)
 波賀町(引原,27.VIII.1973,1♂1♀; 12.VIII.1974,1♀,遠山ほか³⁶; 同,9.VII.1988,1♂; 9.VIII.1988,1♂,高島昭²³)
 三室山(-,-,-,-,遠山ほか¹⁴)

24. *Phalera takasagoensis* Matsumura (3109)

タカサゴツマキシヤチホコ 注目種

別名ヒメツマキシヤチホコ。関東南部以西の本州と四国北部、九州北部、対馬に分布し、やや分布域が狭く局地性が強い。

年1回の出現で、典型的な暖温帯落葉樹林の蛾

である。食樹はクヌギが知られている。本種は高砂市で採集された個体に基づいて記載されており、和名もそれにちなんでいる。県下での記録は高砂市のほか、神戸市、猪名川町、南淡町で採集されているだけであり、現状では局地的で少ない種のようなのである。しかし、山本義丸氏(私信)は少なくとも北摂地域には広く分布している可能性が高いことを指摘されており、クヌギの分布する県南部地域での詳しい調査が望まれる。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,16.VIII.1963,1♂,田中蕃³⁰; 同,-,-,-,岡村八郎¹²)
 猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁸)
 高砂市(原記載)
 南淡町(灘,23.VIII.1971,-,藤平明³)

25. *Phalera angustipennis* Matsumura (3110)

ムクツマキシヤチホコ

別名ホソツマキシヤチホコ。秋田県以南、四国、九州北部、対馬に産する。前種と同様暖温帯林の蛾であるが、前種より普通に見られる。年1回夏に出現し、ムクノキ、アキニレなどニレ科を食樹とする。

県下では、県南部と淡路に記録があり、低山から里山にかけてが分布の中心域である。とくに神戸・阪神地域には広く産するようである。記録のない東播から西播にかけての沿岸部や北但、淡路北部からも見つかるだろう。なお、「宝塚の昆虫(III)」²¹の写真(p.214)はタカサゴツマキシヤチホコの特徴をよく表しており、同書の記録は本種とタカサゴツマキシヤチホコの記録が混じている可能性が高い。少なくとも西宮市では本種ではなくてタカサゴツマキシヤチホコが記録されることになる(ここでは一応本種の記録としてあげた)。

[採集記録]

神戸市(有馬,7.VIII.1950,1♂,東正雄²²; 藍那,16.VII.1966,1♂,遠山ほか³⁶; 山の街,16.VII.1966,1♂,遠山ほか³⁶)
 尼崎市(-,17.VIII.1949,-,新家勝¹⁹)
 西宮市(甲子園,18.VIII.1950,1♂,東正雄²²)
 宝塚市(武庫川町,7.IX.1979,-,新家勝¹⁹; 宝梅1丁目,16.VIII.1988,1♀,東正雄²²; 西谷西部,20.VIII.1988,1♀,東正雄²²; 武田尾,15.VIII.1991,1♀,東正雄²²)
 川西市(黒川,10.VIII.1996,1♂,高島昭²⁷)
 猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,3♂; 20.VIII.1982,4♂,夏秋ほか⁸)
 黒田庄町(喜多,17.VII.1960,2exs.,岡本清)
 波賀町(引原,9.VII.1988,1♂; 29.VII.1988,1♂,高島

昭²³⁾

三日月町(下本郷,-.VI.-.; -.VII.-.; -.VIII.-.; 川副昭人⁹⁾)

柏原町(柏原,-.-.-.; 山本義丸⁴⁴⁾)

南淡町(灘,23.VIII.1971,-.; 藤平明³⁾)

26. *Phalera assimilis* (Bremer & Grey) (3111)

ツマキシヤチホコ

日本各地に分布し、*Phalera* 属の中ではモンクロシヤチホコと並んで最も普通種である。コナラ属を食樹とし、年1回の発生である。

県下では平地から山地まで広く産する。東播、中播北部、北但、淡路北部には記録がないが、分布していると思われる。

[採集記録]

神戸市(大池,22.VIII.1938,lex.,高橋寿郎²¹⁾: 藍那,7.VII.1967,1♀,遠山ほか³⁶⁾)

川西市(鼓ヶ滝,-.VIII.1968,1♂; 23.VIII.1971,1♀,遠山ほか³⁶⁾: 黒川,13.VII.1996,2♂,高島昭²⁷⁾)

猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 21.VII.1982,10♂; 20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁸⁾)

姫路市(広嶺山,6.VII.1996,1♂,高島昭²⁶⁾: 太市,-.1991,-.; 丸谷ほか⁹⁾)

波賀町(引原,4.VII.1973,1♂; 13.VII.1974,1♀,遠山ほか³⁶⁾: 同,9.VII.1988,1♀,高島昭²³⁾)

三室山(-.-.-.; 遠山ほか¹⁴⁾)

相生市(瓜生,22.VIII.1997,1♀,高島昭²⁸⁾)

三日月町(下本郷,-.VII.-.; 川副昭人⁹⁾)

関宮町(福定,1.VIII.1979,2exs.,佐藤学¹⁾)

市島町(妙高山,-.-.-.; 山本義丸⁴⁴⁾)

洲本市(厚浜,9.VIII.1978,-.; 藤富正昭⁴⁾)

三原町(八木養宜,31.VIII.1992,-.; 藤富正昭⁴⁾)

27. *Phalera flavescens* (Bremer & Grey)

(3113) モンクロシヤチホコ

白い翅に黒い紋がある特異な斑紋をもつ種で、日本各地に普通に産する。年1回、夏に出現し、サクラ、ナシ、ズミなどバラ科の樹木につく。幼虫は群生し、とくには大きな被害を与えることもあるという。

県下においても各地に普通で、平地から低山地にかけてを中心に分布は広く普遍的である。これまで記録がない南但地域にも分布しているだろう。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-.; 田中蕃³¹⁾: 同,-.-.-.; 岡村八郎¹²⁾: 山の街,19.VII.1971,1♀,遠山ほか³⁶⁾)

川西市(鼓ヶ滝,-.VIII.1968,1♂,遠山ほか³⁶⁾)

宝塚市(宝梅1丁目,23.VIII.1976,1♀,東正雄²²⁾: 美座2丁目,12.VIII.1979,-.; 新家勝¹⁷⁾: 武庫川町,15.

VIII.1981,-.; 新家勝¹⁷⁾: 西谷西部,14.VIII.1987,

1♂,東正雄²²⁾: 寿楽荘,10.VIII.1989,1♀,東正雄²²⁾)

猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♀; 12.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁸⁾)

高砂市(-.,19.VIII.1965,lex.,岡本清¹¹⁾)

黒田庄町(喜多,25.VI.1959,lex.,岡本清)

姫路市(広嶺山,-.1982,-.; 木村三郎⁷⁾)

波賀町(引原,22.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶⁾: 同,14.

VIII.1979,1♂,相坂耕作: 同,16.VII.1988,1♀; 29.

VII.1988,1♀,高島昭²³⁾: 原,28.VII.1995,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VIII.-.; 川副昭人⁹⁾)

豊岡市(正法寺,27.VII.1998,1♂,柴田剛)

出石町(-.29.VII.1975,-.; 大林誠²⁰⁾)

氷上郡(-.-.-.; 山本義丸⁴⁰⁾)

北淡町(伊勢の森,7.VII.1972,1♂; 5.VIII.1972,3♀,登日邦明³⁵⁾)

洲本市(先山,12.VIII.1976,1ex.,堀田久⁵⁾)

三原町(八木養宜,19.VIII.1985,-.; 25.VIII.1992,-.; 藤富正昭⁴⁾)

南淡町(北阿万,16.VIII.1961,-.; 藤平明²⁾: 阿万上町,14.VIII.1972,1♀,登日邦明³⁵⁾: 灘,19.VIII.1971,-.; 藤平明²⁾)

28. *Ellida arcuata* (Alphéraky) (3114)

ユミモンシヤチホコ 注目種

日本各地に産する。ハルニレ、ケヤキ等のニレ科を食樹とし、年1回春に出現する。県下での分布は限られており、わずか3地域で記録されているに過ぎない。春1回という発生が記録の少なさの一因になっていると思われるが、局地性が強い種なのかもしれない。

[採集記録]

波賀町(引原,22.VI.1977,1♂; 3.V.1978,1♀,遊磨正秀⁴⁸⁾)

三日月町(下本郷,-.IV.-.; 川副昭人⁹⁾)

関宮町(福定,3.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁷⁾)

29. *Ellida branickii* (Oberthür) (3115)

クロテンシヤチホコ 注目種

別名クロボシシヤチホコという。北海道から四国にかけてと対馬に産する。九州の産出状況は不明である。コナラ属を食樹とし、年2回の発生であるが、県下での記録は現在のところ6月のみに得られている。山地性の少ない種で波賀町、大屋町で得られている。播但山地を探せば新しい産地はみつかると思われる。

[採集記録]

波賀町(引原,7.VI.1988,1♀; 15.VI.1988,1♀,高島昭²³⁾)

大屋町(横行溪谷,11.VI.1999,1♀,高島昭)

30. *Ellida viridimixta* (Bremer) (3116)

シロテンシャチホコ 注目種

前翅に緑色の鱗粉をもち、ときに鮮やかな青緑色斑を表し美しい。冷温帯に分布の中心を持つ種で、シナノキを食樹としている。年2回発生とされている。県下での採集記録は少なく山地性。氷ノ山を中心とした西播北部から但馬にかけての山地帯にのみ見られるが、この一帯には広く分布すると思われる。

【採集記録】

波賀町(引原,29.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶⁾: 同,20.

VIII.1988,2♂,高島昭²³⁾)

大屋町(横行溪谷,2.V.1999,2♂,高島昭: 同,20.VIII.1999,1♀,高島昭)

関宮町(福定,17.VII.1972,1♂; 7.VII.1974,1♂; 26.

VII.1974,1♀,遠山ほか³⁶⁾: 鉢伏高原,24.VII.1974,1♀,山本義丸⁴⁶⁾)

氷ノ山(-.-.-,山本義丸⁴¹⁾)

31. *Nerice bipartita* Butler (3117)

ナカスジシャチホコ 注目種

寒地性の種で、大図鑑では中部以北と四国山地が分布地としてあがっており、近畿地方は分布の空白地のように示されているが、隣の岡山県でも中・北部山地から記録があるし、県内の山地帯にも確実に分布している。ナナカマドが食樹として知られており、年2回発生するものと思われる。

神戸市では有馬に古い記録があるほか、生野町と波賀町から関宮町にかけて記録があり、播但山地一帯に分布していると思われる。

【採集記録】

神戸市(有馬,-.-.-,森 博¹³⁾)

波賀町(引原,11.VIII.1987,1♂; 7.VI.1988,1♂; 18.

VI.1988,1♂; 6.VIII.1988,1♂,高島昭²³⁾: 坂の谷,12.VIII.1998,1♂,高島昭)

生野町(段ヶ峰,5.VIII.1953,2♂,山本義丸⁴⁶⁾)

大屋町(横行溪谷,6.VII.1999,1♀,高島昭)

関宮町(福定,18.VIII.1964,1ex.,岡本清: 氷ノ山,-.-.1955,1♀,山本義丸³⁹⁾)

32. *Nerice davidi* Oberthür (3118)

シロスジシャチホコ 注目種

寒地性の種で日本では北海道と本州中部以北に主要な分布域がある。ハルニレが食樹として知られているが、西南日本では食樹の分布が局地的で

あり、本種の分布もこれに合わせて局地的となる。年2回の発生。県下では、これまでに波賀町で採集された1例しか記録がない。

しかし、県内には少ないながらハルニレは分布しており、西播北部から但馬にかけての山地で本種の発見が期待される。

【採集記録】

波賀町(音水溪谷,4.IX.1972,1♂,遠山ほか³⁶⁾)

33. *Gangaridopsis citrina* (Wileman) (3119)

アカシャチホコ 注目種

本州から九州の山地に分布する。日本特産種である。マンサクを食べることが知られている。そのため、生息域はほぼブナーミズナラ帯で代表される温帯林に一致する。年2回の出現。県下では、氷ノ山、扇ノ山を取りまく地域で記録されている。中央山地を中心にもう少し広い分布域を持つと考えられ、今後の発見が期待される。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,27.V.1998,1♂; 同,5.VI.1998,1♂;

12.VI.1998,1♂,高島昭²³⁾)

温泉町(扇ノ山,2.VI.1984,1♂,谷田昌也³²⁾: 同,11.

VIII.1984,1♂,川副昭人³²⁾)

大屋町(横行溪谷,11.VI.1999,1♂,高島昭)

関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-,山本義丸³⁸⁾)

34. *Hupodonta corticalis* Butler (3120)

カバイロモクメシャチホコ

日本各地に分布し、サクラ類、ズミを食する温帯性の種で年1回の発生である。県内の分布は比較的內陸部の低山地から山地に限られ、瀬戸内側、但馬側とも沿岸部近くでは得られていないし、淡路にも記録がない。生息環境にややうるさい種なのかもしれない。

【採集記録】

神戸市(山の街,19.VII.1973,1♀,遠山ほか³⁶⁾)

猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,3♂,夏秋ほか⁶⁾)

西脇市(-,20.VI.1961,1ex.,岡本清)

波賀町(引原,14.VIII.1979,1♂,相坂耕作: 同,12.

VIII.1987,1♀; 5.VIII.1988,1ex.,高島昭²³⁾: 坂の谷,24.VII.1998,1♂1♀,高島昭)

三日月町(下本郷,-.VI.-,川副昭人⁶⁾)

関宮町(福定,19.VII.1972,2♂; 8.VII.1973,1♀; 26.

VII.1973,1♀,遠山ほか³⁶⁾)

柏原町(柏原,-.-.-,山本義丸⁴⁴⁾)

市島町(妙高山,-.-.-,山本義丸⁴⁴⁾)

35. *Neopheosia fasciata* (Moore) (3122)

ヘリスジシャチホコ

別名ウスジシャチホコ。主として伊豆半島以西から四国、九州、対馬に分布し、関東以北にも産するが稀となる。カバイロモクメシャチホコよりやや暖地性といえるが、県内ではよく似た分布状況を示す。今のところ但馬側では記録がない。年2回の発生で、サクラ類を食するという報告が海外であるが、日本ではまだ明らかではない。

[採集記録]

神戸市(六甲山,13.IX.1970,1♀,遠山ほか³⁶:摩耶山,30.VIII.1969,1ex.,岡村八郎¹²:有馬,31.VIII.1949,1♀,東正雄²²:藍那,31.VII.1970,1♀,遠山ほか³⁶)

宝塚市(西谷西部,8.VIII.1987,1♀,東正雄²²:武田尾,6.VII.1919*,1♂,東正雄²²) * 原本どおり
猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♂,夏秋ほか⁸)
波賀町(引原,22.VI.1974,1♂,遠山ほか³⁶:同,8.VIII.1981,1♂,相坂耕作:同,-IX.1982,1♂,相坂耕作:同,16.V.1988,1♀,高島昭²³:坂の谷,20.VI.1998,1♂,高島昭)

三日月町(下本郷,-VI.-,-; -VIII.-,-,川副昭人⁶)
柏原町(柏原,-,-,-,山本義丸⁴⁴)
市島町(妙高山,-,-,-,山本義丸⁴⁴)

36. *Zaranga permagna* (Butler) (3123)

アオバシャチホコ

日本特産種で、北海道から九州、対馬、御蔵島に分布している。ヤマボウシ、ミズキなどを食樹としており、年2回の発生が知られている。

県内での記録は南東部、南西部で記録が多いが、但馬地域では1例のみで、中・東播地域から南但、丹波地域にかけてと淡路地域からの記録を欠く。食樹さえあれば恐らく普遍的に産する種ではないかと思われるので、今後の調査が期待される。

[採集記録]

神戸市(山の街,31.V.1973,1♂,遠山ほか³⁶:摩耶山,-,-,-,岡村八郎¹²)

宝塚市(武田尾,3.IX.1991,1♂,東正雄²²)
猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁸)
三田市(香下,28.VII.1989,1♀; 3.IX.1991,2♂1♀,東正雄²²)

一宮町(福知渓谷,16.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁹)
波賀町(引原,18.V.1974,3♂,遠山ほか³⁶:同,-VIII.1982,1♂,相坂耕作:同,15.VI.1988,1♀; 20.VIII.1988,1♂,高島昭²³:坂の谷,26.VIII.1988,1♂,高島昭)

相生市(瓜生,24.V.1989,1♂,高島昭²⁴)
上郡町(行頭,2.V.1995,1♂1♀,高島昭²⁵)
三日月町(下本郷,-IV.-,-,川副昭人⁶)
豊岡市(山本,24.VI.1973,-,山根政之⁶)

37. *Shaka atrovittatus* (Bremer) (3124)

クビワシャチホコ

本土域と屋久島に分布し、どこでも普通に見られる。各種カエデ類が食樹として知られ、人家の庭でも幼虫が見られることがある。年2回の発生である。県内でも淡路など一部の空白地域を除いて各地で普通に見られ、低山地から山地まで分布し、個体数も多い。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,田中蕃³¹:同,-,-,-,岡村八郎¹²:大池,22.VIII.1938,-,高橋寿郎²¹:有馬,20.VI.1949,1♀,東正雄²²:藍那,13.VI.1967,1♂,遠山ほか³⁶)

宝塚市(西谷西部,27.VI.1987,1♂; 5.IX.1987,1♂; 9.VII.1988,1♂; 17.VI.1989,1♂,東正雄²²)
川西市(黒川,5.VII.1997,1♂,高島昭²⁷)
猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 21.VII.1982,1♂,夏秋ほか⁸)

姫路市(広嶺山,6.VII.1996,2♂,高島昭²⁶)
波賀町(引原,4.VII.1973,1♂,遠山ほか³⁶:同,-IX.1979,2♂,相坂耕作:同,12.VIII.1987,1♂; 18.VI.1988,1♂; 5.VIII.1988,1♂,高島昭²³:坂の谷,15.V.1998,1♂,高島昭:同,12.VI.1998,1♂,高島昭)

三室山(-,-,-,遠山ほか¹⁴)

三日月町(下本郷,-VI.-,-; -VII.-,-; -VIII.-,-; -IX.-,-,川副昭人⁶)

朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,5♂; 31.VII.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁶)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,目,遊磨正秀⁶⁰:横行渓谷,11.VI.1999,1♀,高島昭)

関宮町(大久保,5.VIII.1961,1ex.,岡本清:福定,23.VI.1973,1♂; 7.VII.1973,1♂; 26.VII.1973,1♂,遠山ほか³⁶:氷ノ山,-,-.1954,-,山本義丸³⁸)

氷上郡(-,-,-,山本義丸⁴⁰)

38. *Lophocosma sarantuja* Schintlmeister & Kinoshita (3125) クロスジシャチホコ

本土域と対馬に分布する。イヌシデ、アカシデ、ツノハシバミ、アサダなどカバノキ科が食樹として知られる。年2回の発生である。全国的に普遍的な分布をする種といわれているが、県内では比較的記録が少なく、これまで次の7カ所で得られているにすぎない。とくに東播から西播南部にかけてと淡路地域からは記録がない。食樹の分布からすれば、山地帯を中心にもっと広く見つかるかもしれないのであるが、県下における分布はやや限られているといえる。

[採集記録]

神戸市(藍那,8.IX.1963,1♂,遠山ほか³⁶)
 妙見山(18.VIII.1983,1♂,夏秋ほか⁸)
 川西市(黒川,7.VI.1997,1♂,高島昭²⁷)
 波賀町(引原,6.V.1974,1♂,遠山ほか³⁶; 同,-.IX.
 1982,1♂,相坂耕作: 同,10.IX.1987,1ex.,高島昭²³: 坂の谷,24.VII.1998,1♀,高島昭)
 温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,2♂,川副昭人³²)
 市島町(妙高山,23.VIII.1954,-,山本義丸⁴⁰)

39. *Rabata cristata* (Butler) (3126)

セダカシャチホコ

日本では、北海道から九州に至る本土域と対馬、屋久島から西表島まで広く分布している普通種である。年2回の発生で、落葉及び常緑のコナラ属を食樹としている。

県内では、里山から低山地にかけて広く分布し、典型的な雑木林の蛾であるといえる。東播地域と北但、淡路南部からの記録を欠くが、おそらく広く生息しているだろう。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中蕃³¹: 同,-.-.-,岡村八郎¹²: 山の街,3.VII.1973,1♀,遠山ほか³⁶: 藍那,19.V.1967,1♂,遠山ほか³⁶)
 西宮市(生瀬,5.VI.1971,1♂,遠山ほか³⁶)
 宝塚市(宝梅1,3.VIII.1988,1♀,東正雄²²: 西谷西部,27.VI.1987,1♀; 17.VIII.1987,1♂; 26.VI.1977,1♂; 25.VI.1979,1♂,東正雄²²: 武田尾,13.VII.1991,1♂,東正雄²²)
 川西市(黒川,13.VII.1996,1♂,高島昭²⁷)
 猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,2♂,夏秋ほか⁸)
 姫路市(広嶺山,-.-.1982,-,木村三郎⁷: 同,6.VII.1996,1♂,高島昭²⁶)
 波賀町(引原,7.VII.1973,1♂; 22.VI.1974,2♂,遠山ほか³⁶: 同,14.VIII.1979,2♂,相坂耕作: 同,11.VIII.1987,1♀; 18.VI.1988,1♀,高島昭²³)
 三室山(-.-.-,遠山ほか¹⁴)
 相生市(瓜生,18.VII.1997,1♀,高島昭²⁸)
 三日月町(下本郷,-.VI.-; -.VII.-; -.VIII.-,川副昭人⁶)
 豊岡市(正法寺,25.VI.1997,1♀,柴田剛)
 和田山町(久世田,21.VIII.1989,1ex.,近藤伸一)
 関宮町(福定,7.VII.1973,1♂,遠山ほか³⁶)
 市島町(妙高山,-.-.-,山本義丸⁴⁴)
 北淡町(伊勢の森,7.VII.1972,1♂3♀,登日邦明³⁵)

40. *Rabata splendida* (Oberthür) (3127)

アオセダカシャチホコ

前種と近縁で、北海道から九州にかけて分布するが、全般的に前種より少ない。年2回の発生で、

コナラ属につくことは前種と同様である。

県内でも記録されているところは前種より少なく、やや山地に偏っている傾向にあるが、混生地も多い。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中蕃³¹: 同,-.-.-,岡村八郎¹²: 六甲山,-.-.1933,-,堀江稔男³⁷: 有馬,10.VI.1948,1♂,東正雄²²)
 川西市(黒川,10.VIII.1996,1♂; 同,3.V.1997,1♂,高島昭²⁷)
 猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁸)
 波賀町(引原,25.VIII.1987,1ex.,高島昭²³)
 相生市(瓜生,18.VII.1997,2♂,高島昭²⁸)
 三日月町(下本郷,-.VI.-; -.VII.-,川副昭人⁶)
 和田山町(久世田,28.VIII.1989,1♂,近藤伸一)
 関宮町(氷ノ山,-.-.1955,-,山本義丸³⁹: 福定,23.VI.1973,1♂,遠山ほか³⁶)
 柏原町(柏原,-.-.-,山本義丸⁴⁴)
 市島町(妙高山,-.-.-,山本義丸³⁹)

41. *Torigea straminea* (Moore) (3129)

キシヤチホコ

北海道から九州にかけて普通に産し、種子島が南限となっている。樹木を食する種の多いシャチホコガ科では珍しく単子葉植物であるイネ科のネザサ、クマザサ類を食草としている。県内では平地から山地まで分布は広いと思われるが、但馬、丹波での記録は少なく、淡路でも今のところ記録がない。西播地方でも記録は少ないようで今後の調査が必要である。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中蕃³¹: 山の街,5.V.1973,1♂,遠山ほか³⁶)
 西宮市(生瀬,5.VI.1970,1♀; 2.VIII.1971,1♂,遠山ほか³⁶)
 宝塚市(西谷西部,27.VI.1987,1♀; 13.VII.1991,1♀,東正雄²²: 武田尾,2.VI.1987,2♂,東正雄²²)
 猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂; 1.IX.1982,1♂,夏秋ほか⁸)
 高砂市(25.V.1967,1ex.,岡本清¹¹)
 黒田庄町(喜多,18.VII.1960,1ex.,岡本清)
 姫路市(広嶺山,-.-.1982,-,木村三郎⁷)
 龍野市(北龍野町,22.VI.1967,1♀,相坂耕作)
 一宮町(福知溪谷,16.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁴⁸)
 南光町(船越,5.VIII.1963,1ex.,岡本清)
 関宮町(福定,24.VI.1973,1♂,遠山ほか³⁶)
 柏原町(柏原,-.-.-,山本義丸⁴⁴)

42. *Mimopydna pallida* (Butler) (3130)

ウスキシヤチホコ

北海道から九州にかけての本土域に分布し、年2回の発生。ススキが食草として知られるが、前種とは違ってササヤタケ類にはつかないと思われる。県内では、里山から低山地を中心に比較的普通に見られる。記録がない西播南部、淡路北部からも見つかるだろう。

【採集記録】

神戸市(摩耶山, -,-,-, 田中蕃³¹: 藍那, 25.VI.1973, 1♂, 遠山ほか³⁶)
 宝塚市(西谷西部, 27.VI.1987, 1♂; 16.VI.1990, 1♂, 東正雄²²: 武田尾, 13.VII.1991, 1♂, 東正雄²²)
 川西市(鼓ヶ滝, -VIII.1968, 1♂, 遠山ほか³⁶: 黒川, 10.VIII.1996, 1♂; 3.V.1997, 1♂, 高島昭²⁷)
 猪名川町(上阿古谷, 12.VIII.1982, 1♂, 夏秋ほか⁸)
 黒田庄町(喜多, 5.V.1960, 1ex., 岡本清: 同, 15.VI.1962, 1ex., 岡本清)
 姫路市(広嶺山, 6.VII.1996, 1♂1♀, 高島昭: 太市, -1991, -, 丸谷ほか⁹: 同, 6.V.1995, 1♂, 高島昭)
 波賀町(引原, 2.VI.1975, 2♂; 22.V.1976, 1♂; 8.V.1977, 1♂, 遊磨正秀⁴⁸)
 豊岡市(正法寺, 27.V.1998, 1♀, 柴田剛: 同, 25.VIII.1998, 1♂, 柴田剛)
 関宮町(福定, 17.VII.1972, 1♂, 遠山ほか³⁶)
 柏原町(柏原, -,-,-, 山本義丸⁴⁴)
 青垣町(神楽, -,-,-, 山本義丸⁴⁴)
 南淡町(阿万上町, 23.V.1959, -, 藤平明²)

43. *Notodonta albicosta* (Matsumura) (3134)

マエジロシヤチホコ 注目種

日本特産種で、北海道から中国地方までと四国、九州の高地でみつかっている。分布の中心はブナ帯で、ミズナラを食することが確認された。年2回の発生が知られている。

冷温帯性の種なので、県下では山地に限られ、現在のところ下記の5カ所で記録があるのみである。中央山地では新しい産地が見つかると思われる。

【採集記録】

波賀町(引原, 29.VII.1988, 1♂, 高島昭²³: 坂の谷, 24.VII.1998, 1♂, 高島昭)
 大屋町(田淵山, 5.VIII.1975, 1♂, 遊磨正秀⁵⁰: 横行溪谷, 15.VII.1999, 1♂, 高島昭)
 関宮町(氷ノ山, -,-,-, 1954, -, 山本義丸³⁸: 鉢伏高原, 23.VII.1975, 1♀, 山本義丸⁴⁵)

44. *Notodonta torva* (Hübner) (3137)

トビマダラシヤチホコ 注目種

別名フタナミシヤチホコという。北海道と中部山地に分布することが知られている寒地性の種で、年1回の発生である。長野県ではドロノキから幼虫が発見されている。

県下では波賀町の引原ダムでの1974年の採集例が唯一のもので、それ以降は記録がなく確認が必要である。食樹の分布からすれば氷ノ山を中心とする山地では生息している可能性はあり、今後の調査が期待される。

【採集記録】

波賀町(引原, 12.VIII.1974, 1♂, 遊磨正秀⁴⁸)

<目録から除外した種>

1. *Phalera minor* Nagano (3112)

クロツマキシヤチホコ

別名コツマキシヤチホコともいう。♂は小さいがむしろ♀は本属中最大の開張を示す。関東南部が北限で東海地方以西太平洋岸沿いに南西諸島にまで分布し、コナラ属を食する。ウバメガシへの食害が報告されている。日本に産するツマキシヤチホコ属 *Phalera* では最も南方系の種である。県下では、神戸市藍那から下記の記録があるが、当時利用されていた保育社の原色日本蛾類図鑑にクロツマキシヤチホコとして図示されていたものはタカサゴツマキシヤチホコであり、この記録もおそらくタカサゴツマキとの誤同定ではないかと思われる。その後の採集記録も全くないため、県内で再確認されるまで目録への掲載を保留したい。

【採集記録】

神戸市(藍那, 9.VII.1964, 1♂, 遠山ほか³⁶)

<引用文献>

- 1) 芦田 久(1981) ニトベシヤチホコを養父郡関宮町福定で採集 きべりはむし 9(2):24-25.
- 2) 藤平 明(1979) 南淡の蛾(IV) PARNASSIUS 20:10-18.
- 3) 藤平 明(1987) 南淡の蛾(自刊)
- 4) 藤宮正昭(1994) 私版 淡路の昆虫リスト PARNASSIUS 41:1-4.
- 5) 堀田 久(1976) 先山の昆虫相(I) PARNASSIUS 16:11-32.
- 6) 川副昭人(1987) 佐用郡三日月町の蛾覚え書 てんとうむし 10:1-10.
- 7) 木村三郎(1984) 広峰・増位山系の昆虫 てんとうむし 9:53-58.
- 8) 夏秋 優・佐々木 昇(1982) 能勢地方の蛾(I) 上阿古谷・夏の蛾 Crude 23:1-37.
- 9) 日本野鳥の会(1992) 姫路市自然観察の森林

- 内基礎調査報告書 4-6昆虫類 p.119-151.
- 10) 西岡公明(1983) 三熊山蛾類採集記録[I] PARNASSIUS 27:7-9.
 - 11) 岡本 清(1997) 高砂の蛾 てんとうむし 11:40-45.
 - 12) 岡村八郎(1987) 神戸市摩耶山の蛾類採集目録 てんとうむし 10:37-45.
 - 13) 岡村八郎・森 博(1987) 有馬の蛾より てんとうむし 10:66-67.
 - 14) 奥谷禎一(1974) 中国山脈東端の昆虫相 東中国山地自然環境調査報告 173-191.
 - 15) 坂口 操(1971) 洲本市付近の蛾の記録 PARNASSIUS 8:6-10.
 - 16) 新家 勝(1982) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(その3) きべりはむし 10(1):7-10.
 - 17) 新家 勝(1982) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その1) きべりはむし 10(2):10-16.
 - 18) 新家 勝(1985) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その4) きべりはむし 13(2):36-40.
 - 19) 新家 勝(1989) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その9) きべりはむし 17(2):31-35.
 - 20) 高橋 匡(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録(第3報):9-14.
 - 21) 高橋寿郎(1939) 神戸神有沿線大池付近の蛾類 昆虫界 7(60):16-18.
 - 22) 宝塚市教育委員会(1992) 宝塚の昆虫III 蛾類(I)
 - 23) 高島 昭(1995) 波賀町波賀町引原ダム周辺における蛾相第2報 きべりはむし 23(2):10-23.
 - 24) 高島 昭(1996) 相生市三濃山麓の蛾(1) きべりはむし 24(1):27-39.
 - 25) 高島 昭(1997) 上郡町で採集した蛾(1) きべりはむし 25(1):31-38.
 - 26) 高島 昭(1997) 姫路市広嶺山の蛾(1) てんとうむし 11:65-69.
 - 27) 高島 昭(1998) 黒川の蛾 きべりはむし 26(1):23-38.
 - 28) 高島 昭(1998) 相生市三濃山麓の蛾(2) きべりはむし26(2):59-64.
 - 29) 高島 昭(1999) 兵庫県波賀町で採集した注目すべき蛾 誘蛾燈155,p.17-24.
 - 30) 田中 蕃(1966) 神戸市摩耶山に産する若干の蛾類 蛾類通信 45:442-444.
 - 31) 田中 蕃(1967) 神戸市摩耶山に産する大蛾類 佳香蝶 19(71):89-104.
 - 32) 谷田昌也(1986) 扇ノ山の蛾類分布資料(1) IRATSUME 10:30-37.
 - 33) 登日邦明(1973) 淡路島産蛾類分布資料(I) 蛾類通信 73:215-224.
 - 34) 登日邦明(1973) 淡路島若干の蛾の記録 PARNASSIUS 9:9-16.
 - 35) 登日邦明(1974) 淡路島産蛾類分布資料(II) 蛾類通信 76:261-266.
 - 36) 遠山雅夫・遊磨正秀・松本健嗣(1975) 兵庫県(1)シャチホコガ科 きべりはむし 4(1/2):26-37.
 - 37) 戸沢信義(1935) 六甲山産蛾類目録 関西昆虫雑誌 2(3):30-31.
 - 38) 山本義丸(1955) 氷ノ山の蛾について(第一報) 兵庫生物 3(1/2):3-6.
 - 39) 山本義丸(1956) 氷ノ山の蛾について(第二報) 兵庫生物 3(3):121-123.
 - 40) 山本義丸(1958) 兵庫県氷上郡昆虫目録 12-50.
 - 41) 山本義丸(1958) 氷ノ山の蛾について(第三報) 兵庫生物 3(4):237-239.
 - 42) 山本義丸(1959) 氷ノ山の蛾類について(補遺) 兵庫生物 3(5):383-384.
 - 43) 山本義丸(1989) 氷ノ山の蛾類について(後報) 兵庫生物 9(5):295-297.
 - 44) 山本義丸(1997) 兵庫県氷上郡地方の蛾類(2) きべりはむし 25(1):11-22.
 - 45) 山本義丸(1997) 兵庫県で採集した蛾の記録 きべりはむし 25(2):54-57.
 - 46) 遊磨正秀(1980) 朝来郡朝来町須留ヶ峰の蛾類について(I) きべりはむし 8(3):1-8.
 - 47) 遊磨正秀(1980) 養父郡関宮町福定におけるシャチホコガ科の記録 きべりはむし 8(3):12.
 - 48) 遊磨正秀(1980) 宍粟郡引原ダムにおけるシャチホコガ科の記録 きべりはむし 8(3):13-14.
 - 49) 遊磨正秀(1981) 宍粟郡一宮町福知溪谷の蛾類について きべりはむし 9(1):1-3.
 - 50) 遊磨正秀(1981) 養父郡大屋町田淵山の蛾類について(I) きべりはむし 9(1):3-6.

第1表 兵庫県のシャチホコガ科各種の分布状況(1)

	神戸	阪神北摂	中東播南部	中東播北部	西播南部	西播北部	南但	北但	丹波	淡路北部	淡路南部	記録地数	30. IX. 1999現在
1. ギンモンスズメモドキ	○	○				○	○	○	○			11	山地性
2. シャチホコガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	20	
3. ヒメシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	16	
4. ゴマダラシャチホコ						○						1	山地性 注目種
5. プライアオシャチホコ	○	○		○		○	○			○	○	8	(参考記録を含まない)
6. アオシャチホコ	○	○	○		○	○	○		○			17	
7. オオアオシャチホコ		○	○		○	○	○					11	
8. プナアオシャチホコ					○	○	○	○				7	山地性
9. バイバラシロシャチホコ		○	○		○	○	○	○	○			16	
10. シロシャチホコ						○	○					11	山地性
11. ニッコウシャチホコ						○	○					5	山地性 注目種
12. オオモクメシャチホコ	○	○			○	○	○		○			6	
13. タツカモクメシャチホコ						○						1	局地的
14. ホシナカグロモクメシャチホコ							○					2	山地性 注目種
15. ナカグロモクメシャチホコ	○	○		○		○	○		○	○	○	9	
16. ギンシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○		○		○	17	
17. モンクロギンシャチホコ	○	○	○	○	○				○		○	14	
18. ムラサキシャチホコ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	20	
19. ホソバシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	41	
20. クロシタシャチホコ	○	○			○		○		○	○	○	12	
21. ホソバネグロシャチホコ	○	○			○		○	○	○			8	
22. フタジマネグロシャチホコ	○	○				○	○					8	
23. オオネグロシャチホコ	○	○				○						5	
24. タカサゴツマキシャチホコ	○	○	○								○	4	暖地性 注目種
25. ムクツマキシャチホコ	○	○		○	○	○			○		○	16	
26. ツマキシャチホコ	○	○	○		○	○	○		○		○	15	
27. モンクロシャチホコ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	24	
28. ユミモンシャチホコ					○	○	○					3	局地的 注目種
29. クロテンシャチホコ						○	○					2	山地性 注目種
30. シロテンシャチホコ						○	○					5	山地性 注目種
31. ナカスジシャチホコ	○					○	○					7	山地性
32. シロスジシャチホコ						○						1	山地性 注目種
33. アカシャチホコ						○	○	○				4	山地性 注目種
34. カバイロモクメシャチホコ	○	○		○	○	○	○		○			9	
35. ヘリスジシャチホコ	○	○			○	○			○			12	暖地性
36. アオバシャチホコ	○	○			○	○		○				12	
37. クビワシャチホコ	○	○	○		○	○	○		○			19	
38. クロスジシャチホコ	○	○				○		○	○			7	
39. セダカシャチホコ	○	○	○		○	○	○	○	○	○		19	
40. アオセダカシャチホコ	○	○			○	○	○		○			13	
41. キシャチホコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○			14	
42. ウスキシャチホコ	○	○	○	○		○	○	○	○		○	16	
43. マエジロシャチホコ						○	○					6	山地性 注目種
44. トビマダラシャチホコ						○						1	山地性 注目種